

日本サクラソウ 1

日本サクラソウとは

我国の野生のサクラソウを改良して、古く江戸時代から栽培されてきた宿根草で、約700品種もあります。

性 質

寒さにはいたって強く、表土が少しくらい凍っても大丈夫ですが、暑さと乾燥には弱く、夏に株が弱ることもあります。花が終わると、地下茎を伸し先端に新芽をつけ、翌年の芽を形成します。地上部は、7月末ごろから枯れてきます。

日本サクラソウ栽培暦

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
生育			出葉	開花				枯葉					
芽分け													
灌水	1日に1~2回(乾いたらやる)												
肥料			2~3回		3~4回				1~2回				
除草													
増し土					2~3回								
薬剤散布													
採種			播種				採種						
種播							とりまき						
霜よけ	霜よけ						日よけ						
日よけ													

管理の要点

- (1) 鉢は、5~6号を使用し、用土は排水のよいかるい培養土を用いる。
- (2) 毎年、適期(11月か2月)に必ず芽分け、植え替えを行う。
- (3) 花が咲き終わったら、早めに摘花する。
- (4) 花後には増し土を必ず行う。(2~3回)
- (5) 6月下旬~9月は、ヨシズや寒冷紗の下で栽培する。葉を大切にする。
- (6) 乾燥を嫌い水の好きな植物であるが、過湿にして根腐れをさせない。
- (7) 肥料は、油カスの腐汁、液体肥料などを薄めにして与える。
- (8) 除草を常に心がける。



日本サクラソウ 2

鉢植え管理

芽分け

鉢から培養土を抜き、根をいためないよう土を落とし、静かに芽をさばいて芽を折り分けます。

植え付け

鉢底に小砂利を敷き、培養土を4割ぐらい入れます。同じくらいの大きさの芽4～5個を鉢の円周に沿って、芽の向きを同一にして植え付け、鉢の7割まで土を入れます。植え付け後、たっぷりと水をやります。

灌水

夏は朝夕2回与え、その他の季節は、表土が乾いたときに行います。

肥料

3月中旬からつぼみが出るころまでに2～3回、花が終って7月までに月3回、薄めの液体肥料を与えます。

日よけ

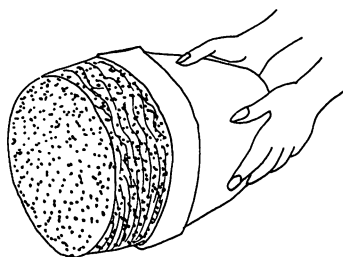
7月から9月まで、ヨシズまたは寒冷紗(50%遮光)などで日よけします。

増し土

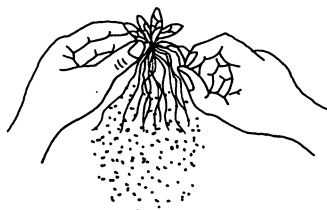
花後から6月までの間に2～3回、砂に腐葉土を混ぜたものを株元をかくす程度入れます。

病害虫

4月中旬～8月中旬まで、アブラムシ、アオムシなどがつくことがあるので、見つけ次第スミチオン、マラソンなどを散布します。



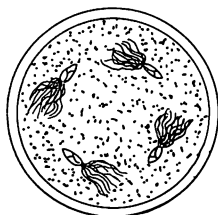
鉢から培養土を抜く



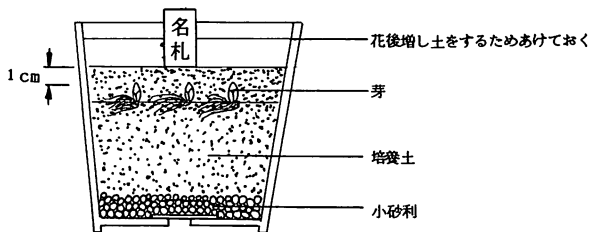
根元の土を落とす
(水で洗ってもよい)



大きい芽を選ぶ
(小さい芽には、花芽はつかない)



芽を立てうずまき状に植える



芽分け・植え付けの仕方

